

## 厚生労働省 令和元年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」 「栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」活用に関する調査

日本栄養改善学会では、平成29年度、30年度に厚生労働省より委託を受け、「管理栄養士・栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム（以下、「栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」）の作成を行いました。

今年度は、厚生労働省より、「栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」の普及活用に関する事業を学会に委託されました。その事業の一環として、管理栄養士・栄養士養成施設における「栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」の周知や活用状況の実態把握を依頼されました。

ご多用の折、誠に恐縮ですが、調査へのご協力をお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 日本栄養改善学会 理事長 村山 伸子  
一般社団法人 全国栄養士養成施設協会 会長 滝川 嘉彦

### 回答にあたって

1. 貴施設の学科長または学科長職に相当する方が、必要な統計データ等は事務担当とご相談の上、ご回答くださるようお願いいたします。
2. 本質問紙にご回答の上、同封の返信用封筒にて、12月5日（木）必着で、ご返送ください。
3. 結果を公開する際は、集団のデータとして集計し、個々の施設の情報が公表されることは決してありません。また、得られた情報は厳正に管理し、本調査目的以外には使用しません。
4. 本調査は任意の調査であり、回答しないことによって不利益を被ることはありません。
5. 本調査の回答をもって、調査への同意とみなさせていただきます。
6. ご回答内容について、さらに詳しく調査するため、後日、問合せさせていただく場合もあります。
7. 本調査について、ご意見がございましたら、自由記述欄にご記入をお願いします。

**回答期限：令和元年12月5日（木）必着**

※同封の返信用封筒にてご返送ください。

#### [問合せ先]

特定非営利活動法人日本栄養改善学会事務局  
〒108-0073 東京都港区三田 3-4-18 二葉ビル 904 号  
Tel:03-5446-9970 E-mail: kaizen\_core@jsnd.jp

## I. 貴施設の養成課程について

1. 貴施設名および学部・学科名をお答えください。

施設名
-----

学部・学科名
--------

2. 管理栄養士・栄養士の養成について、該当する番号に○をつけてください。

1. 管理栄養士養成施設である	2. 栄養士養成施設である
-----------------	---------------

3. 養成課程の定員数をお答えください。

入学定員数	人
編入生定員数	人

## II. 貴施設の管理栄養士または栄養士養成に関する教育方針についてお尋ねします。

1. 管理栄養士または栄養士の養成を行う上で、重点を置いている分野は何ですか。当てはまる番号、上位3つに○をつけてください。また、貴学が特に特徴としている分野があれば、右側の欄に○をつけてください（いくつでも）。

特に重点を置いている分野（3つ迄○）	特に特徴としている分野
1. 臨床栄養	
2. 介護・福祉	
3. 公衆栄養	
4. 給食経営管理・給食管理	
5. 学校栄養	
6. スポーツ栄養	
7. 食品開発	
8. 国際栄養	
9. その他（具体的に）	

上記で、「特に特徴としている分野」に○をつけた場合、どのように特徴的なのか、簡単に結構ですの  
で、説明をお願いします。

--

2. 貴学が養成する管理栄養士・栄養士の人材像について、お尋ねします。以下の項目について重要と考える程度をお答えください。

養成する人材像	貴施設における重要度		
	1 あまり重要でない	2 まあ重要	3 大いに重要
1. 専門職として社会で活躍できる	1	2	3
2. 管理栄養士国家試験に合格できる	1	2	3
3. 専門職として実践活動だけでなく研究もできる	1	2	3
4. 所属組織の中で、リーダーシップをとれる	1	2	3
5. 組織の枠を超えて、社会でリーダーシップをとれる	1	2	3
6. 国際社会で活躍できる	1	2	3

3. 管理栄養士養成施設ではない、栄養士養成施設にお尋ねします。以下のうち、貴施設がよりめざしている養成のあり方について、該当する番号 1つに○をつけてください。

- |                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. どちらかといえば、栄養士として、管理栄養士とは異なる特徴や資質を有する人材の養成をめざしている</p> <p>2. どちらかといえば、将来は管理栄養士の資格取得をめざす人材の養成をめざしている</p> <p>3. 1と2を同じくらい重視して、養成を行っている</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**Ⅲ. 厚労省委託事業として作成した「栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」に関連して、お尋ねします。**

1. 「栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」の学内での周知方法として、該当するものすべてに○をしてください。

- |                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 学内で周知のための情報提供を行った</p> <p>2. 学内で周知のための研修会・勉強会を実施した</p> <p>3. 学外の研修会への参加を呼びかけた</p> <p>4. その他（具体的に説明をご記入ください）<br/>( )</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2. 「栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」の教育課程への活用について、該当するものすべてに○をしてください。

- |                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 今後、学内で活用のための検討を実施予定である</p> <p>2. 今後、教員個々人に活用を促す予定である。</p> <p>3. 既に学内で活用のための検討を実施した。または実施中である</p> <p>4. 既に教員個々人に、活用するように促した。</p> <p>5. とくに活用する予定はない。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



## 資料 2

### 厚生労働省 令和元年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」 「管理栄養士・栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」の効果的な活用方法に関する検討 事業報告書(管理栄養士養成施設)

- 貴施設からいただいた情報は、最終報告書に掲載し、公表します。
- 最終報告書では、各施設の事例に施設名(F1)、事業責任者(F2)の情報は記載しません。ご協力いただきました施設名を冊子の最後等に一覧として掲載させていただきます。
- 最終報告書への記載について配慮が必要な項目がある場合は、最後に、その旨を詳しくご記入ください。
- 次ページより報告内容は、4～6 ページで記載してください。
- 記入例や、※で記載されている事項は削除して提出してください。

#### F1. 施設名および学部・学科名

施設名

学部・学科名

#### F2. 事業責任者

氏名

役職

F3. 日頃重点的に養成する人材像の分野、今回の検討で重点を置いた分野について、表の中に○をつけてください(複数可)。

分野	日頃重点的に養成する人材像の分野	今回の検討で重点を置いた分野
1. 臨床栄養		
2. 介護・福祉		
3. 公衆栄養		
4. 給食経営管理・給食管理		
5. 学校栄養		
6. スポーツ栄養		
7. 食品開発		
8. 国際栄養		
9. その他(具体的に記載) ( )		

1. 目的(各施設内の教育カリキュラムの課題や特徴を含めて記載)

※各施設においては、モデル・コア・カリキュラムが発表されていなくてもそれぞれに教育カリキュラム上の課題があり、それに対する評価・改善を実施されていると思います。その過程の中で、どのようにモデル・コア・カリキュラムを活用したか(する予定なのか)というように、モデル・コア・カリキュラムを活用することを手段の1つとして捉えて報告してください。

1) 現行の教育カリキュラムの課題

記入例:「本学では、ディプロマポリシーの1つに〇〇を掲げており、その〇〇を達成するために」、「〇〇という課題がある」等

2) 課題解決のために、モデル・コア・カリキュラムをどのように活用したか(する予定なのか)

記入例:上記の課題解決に向けて、モデル・コア・カリキュラムを活用し、「〇〇すること」を目的とした。

2. 教育カリキュラム検討体制

1) 検討メンバー構成

分野または担当科目	職位(教授等)	検討における役割(リーダー等)

2) 本事業に関わった管理栄養士養成課程の教員(いずれかに○)

- ① 全員            ②一部の教員

3. 検討の実施

※上記の目的を達成させるための教育カリキュラム検討をどのように実施したか(しているか)という視点で記載してください。

1) 検討作業の方法や手順

※具体的にご記入ください。また、その作業で使用したシートや資料がありましたら要約や一部分を掲載、または別途添付してください。その際、資料番号を付してください。

記入例)

1. コアカリの学修目標の項目のエクセルシートを作成した。資料1
2. 各科目担当者に、現在教育している内容とコアカリの学修目標の項目との照合作業を行ってもらった。
3. 2の照合結果から、教育内容の状況を把握した。

## 2) 検討作業の評価

記入例) 使用した作業用シートより、〇〇のような書式のほうが、集計しやすかった。

## 4. 検討の結果

1) これまでの教育カリキュラムや教育内容にモデル・コア・カリキュラムをどのように反映させたか(または反映させる予定か)

※〇〇の内容を変更した、または変更する予定、などのご記入ください。

2) 特に、今回の検討で重点をおいた分野(フェイスシートの F3 の1～9の分野)と関連した検討内容

3) モデル・コア・カリキュラムの「A-管理栄養士として求められる基本的な資質・能力」「H-栄養学研究」への対応の検討

① 「A-管理栄養士として求められる基本的な資質・能力」の項目

② 「H-栄養学研究」の項目

4) コアカリ(教育課程の6割)以外の教育カリキュラム・教育内容の特徴を記載してください。

※重点的に養成する人材像の分野(フェイスシートの F3 の1～9の分野)に対応した、教育カリキュラムや教育内容の特徴を記載してください。この度の事業によって検討するようになった教育カリキュラムだけでなく、現行の教育カリキュラムや教育内容にも特徴がありましたら記載してください。

5) その他

※上記以外にありましたら記載してください。

5. 検討結果の評価と今後の栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの活用について

※1で記載した目的を達成できたか、今後の課題等について記載してください。

※活用の検討を行って良かった点や、活用方法のために必要なツールなど、自由にご意見をお願いします。

### 資料 3

厚生労働省 令和元年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」  
「管理栄養士・栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム」の効果的な活用方法に関する検討  
事業報告書(栄養士養成施設)

- 貴施設からいただいた情報は、最終報告書に掲載し、公表します。
- 最終報告書では、各施設の事例に施設名(F1)、事業責任者(F2)の情報は記載しません。ご協力いただきました施設名を冊子の最後等に一覧として掲載させていただきます。
- 最終報告書への記載について配慮が必要な項目がある場合は、最後に、その旨を詳しくご記入ください。
- 次ページより報告内容は、4～6 ページで記載してください。
- 記入例や、※で記載されている事項は削除して提出してください。

#### F1. 施設名および学部・学科名

施設名

学部・学科名

#### F2. 事業責任者

氏名

役職

#### F3. 重点的に養成する人材像、教育内容の特徴について、以下に記載してください。

### 1. 目的(各施設内の教育カリキュラムの課題や特徴を含めて記載)

※各施設においては、モデル・コア・カリキュラムが発表されていなくてもそれぞれに教育カリキュラム上の課題があり、それに対する評価・改善を実施されていると思います。その過程の中で、どのようにモデル・コア・カリキュラムを活用したか(する予定なのか)というように、モデル・コア・カリキュラムを活用することを手段の1つとして捉えて報告してください。

#### 1) 現行の教育カリキュラムの課題

記入例:本学では、ディプロマポリシーの1つに〇〇を掲げており、その〇〇を達成するために、「〇〇という課題がある」等

#### 2) 課題解決のために、モデル・コア・カリキュラムをどのように活用したか(する予定なのか)

記入例:上記の課題解決に向けて、モデル・コア・カリキュラムを活用し、「〇〇すること」を目的とした。

### 2. 教育カリキュラム検討体制

#### 1) 検討メンバー構成

分野または担当科目	職位(教授等)	検討における役割(リーダー等)

#### 2) 本事業に関わった栄養士養成課程の教員(いずれかに○)

- ① 全員            ②一部の教員

### 3. 検討の実施

※上記の目的を達成させるための教育カリキュラム検討をどのように実施したか(しているか)という視点で記載してください。

#### 1) 検討作業の方法や手順

※具体的にご記入ください。また、その作業で使用したシートや資料がありましたら要約や一部分を掲載、または別途添付してください。その際、資料番号を付してください。

記入例)

1. コアカリの学修目標の項目のエクセルシートを作成した。資料1
2. 各科目担当者に、現在教育している内容とコアカリの学修目標の項目との照合作業を行ってもらった。
3. 2の照合結果から、教育内容の状況を把握した。

## 2) 検討作業の評価

記入例) 使用した作業用シートより、〇〇のような書式のほうが、集計しやすかった。

## 4. 検討の結果

1) これまでの教育カリキュラムや教育内容にモデル・コア・カリキュラムをどのように反映させたか(または反映させる予定か)

※〇〇の内容を変更した、または変更する予定、などのようにご記入ください。

2) 特に、養成する人材像、教育内容の特徴と関連した検討内容

※教育カリキュラムや教育内容の特徴を記載してください。この度の事業によって検討するようになった教育カリキュラムだけでなく、現行の教育カリキュラムや教育内容にも特徴がありましたら記載してください。

3) その他

※上記以外にありましたら記載してください。

## 5. 検討結果の評価と今後の栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの活用について

※1で記載した目的を達成できたか、今後の課題等について記載してください。

※活用の検討を行って良かった点や、活用方法のために必要なツールなど、自由にご意見をお願いします。

## 資料4

### 活用支援ガイドのヒアリングの質問事項（管理栄養士養成施設教員用）

#### 栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの効果的な活用支援ガイド ヒアリング概要

ヒアリングにご協力いただきありがとうございます。

後日、お電話にて、下記の内容についてヒアリングをさせていただきます。

担当の分野（お立場）からの回答をお願いすることになります。ご多忙中恐縮ではございますが、下表の参考資料の関連項目に予めお目通しくださいますようお願いいたします。

#### 1. モデル・コア・カリキュラムの効果的な活用支援ガイドの実行可能性に関する質問

主な質問項目	参考資料
1) コアカリの効果的な活用支援ガイドの中で、貴学でも実施している共通点について	・活用支援ガイド ・15校の報告事例一覧表 (必要に応じて15校の報告書)
2) 貴学において導入してみたいと思った活用方法とその理由について	
3) 一般的に簡単に導入できそうと思った活用方法とその理由について	
4) 導入が難しいと思われた活用方法とその理由について	
5) ご担当の分野（お立場）以外での意見について	

#### 2. モデル・コア・カリキュラムによる教育効果に関する質問

主な質問項目	参考にして欲しい資料
1) 管理栄養士養成の教育効果を高めるためには、特に重視する項目や教育する時期について、どのような活用が有効だと思いますか。	・コアカリ冊子の関係箇所 ・活用支援ガイド
2) その他のご意見	

#### 3. 活用支援ガイドに関するその他のご意見

## 活用支援ガイドのヒアリングの質問事項（現場で管理的立場の管理栄養士用）

### 栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの効果的な活用支援ガイド ヒアリング概要

ヒアリングにご協力いただきありがとうございます。

後日、お電話にて、下記の内容についてヒアリングをさせていただきます。

担当の分野（お立場）からの回答をお願いすることになります。ご多忙中恐縮ではございますが、下表の参考資料の関連項目に予めお目通しくださいますようお願いいたします。

#### 1. モデル・コア・カリキュラムによる教育効果に関する質問

主な質問項目	参考資料
1) 臨地実習生や新卒者や後輩栄養士の指導を通して管理栄養士養成教育で足りない点	
2) 1)の管理栄養士養成教育で足りない教育を充実させるために、コアカリの活用において推進して欲しい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用支援ガイド</li> <li>・15校の報告事例一覧表 (必要に応じて15校の報告書)</li> </ul>
3) コアカリAの「管理栄養士に求められる基本的な資質・能力」に掲げられている学修目標を達成するために、臨地・校外実習までに（もしくは就職するまでに）特に実施して欲しい項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子の関係箇所</li> </ul>
4) コアカリAの学修目標について、臨地・校外実習（職業体験を含む）において修得できると考えられる項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子の関係箇所</li> </ul>
5) 臨地・校外実習（職業体験を含む）を通じて、特にコアカリA「管理栄養士に求められる基本的な資質・能力」やG「統合実習」の学修目標を学生が修得するために、実習施設（実習指導者）は、コアカ리를どのように活用できるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子の関係箇所</li> </ul>
6) 5)のために、事前に大学から得ておきたい情報や、大学からどのような方針が示されると良いか。	
7) 現在の職務上、コアカ리를活用できること（例：現任教育への活用等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子の関係箇所</li> </ul>
8) コアカリH（卒業研究等）の各大学での活用状況に対するご意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子の関係箇所</li> </ul>

#### 2. 活用支援ガイドに関するその他のご意見

## 活用支援ガイドのヒアリングの質問事項（栄養士養成施設教員用）

### 栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの効果的な活用支援ガイド ヒアリング概要

ヒアリングのご協力ありがとうございます。

後日、お電話にて、下記の内容についてヒアリングをさせていただきます。

担当の分野（お立場）からの回答をお願いすることになります。下表の参考資料の関連項目に予めお目通しくださいますようお願いいたします。

#### 1. モデル・コア・カリキュラムの効果的な活用支援ガイドの実行可能性に関する質問

主な質問項目	参考資料
1) コアカリの効果的な活用支援ガイドの中で、貴学でも実施している共通点について	・活用支援ガイド ・6校の報告事例一覧表 (6校の報告書)
2) 貴学において導入してみたいと思った活用方法とその理由について	
3) 一般的に簡単に導入できそうと思った活用方法とその理由について	
4) 導入が難しいと思われた活用方法とその理由について	
5) ご担当の分野（お立場）以外での意見について	

#### 2. モデル・コア・カリキュラムによる教育効果に関する質問

主な質問項目	参考にして欲しい資料
1) 栄養士養成の教育効果を高めるためには、特に重視する項目や教育する時期について、どのような活用が有効だと思いますか。	・コアカリ冊子 ・活用支援ガイド
2) その他のご意見	

#### 3. 活用支援ガイドに関するその他のご意見

## 活用支援ガイドのヒアリングの質問事項（現場で管理的立場の栄養士用）

### 栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの効果的な活用支援ガイド ヒアリング概要

ヒアリングのご協力ありがとうございます。

後日、お電話あるいはお会いして、下記の内容についてヒアリングをさせていただきます。担当の分野（お立場）からの回答をお願いすることになります。下表の参考資料の関連項目に予めお目通しくくださいますようお願いいたします。

#### 1. モデル・コア・カリキュラムによる教育効果に関する質問

主な質問項目	参考資料
1) 校外実習生や新卒者や後輩栄養士の指導を通して栄養士養成教育で足りない点	
2) 1)の栄養士養成教育で足りない教育を充実させるために、コアカリの活用において推進して欲しい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用支援ガイド</li> <li>・6校の報告事例一覧表（6校の報告書）</li> <li>・コアカリ冊子</li> </ul>
3) コアカリAの「栄養士に求められる基本的な資質・能力」に掲げられている学修目標を達成するために、校外実習までに（もしくは就職するまでに）特に実施して欲しい項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子</li> </ul>
4) コアカリAの学修目標について、校外実習において修得できると考えられる項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子</li> </ul>
5) 校外実習を通じて、特にコアカリA「栄養士に求められる基本的な資質・能力」やG「給食の運営に関する総合実習」の学修目標を学生が修得するために、実習施設（実習指導者）は、コアカリをどのように活用できるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子</li> </ul>
6) 5)のために、事前に大学から得ておきたい情報や、大学からどのような方針が示されると良いか。	
7) 現在の職務上、コアカリを活用できること（例：現任教育への活用等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コアカリ冊子</li> </ul>

#### 2. 活用支援ガイドに関するその他のご意見